



さあ、答え合わせをしよう!

第55週目 行ってみよう～熊本県(くまもとけん)からの出題

※ココを見てね!▶行ってみよう～熊本県(くまもとけん)

1. 熊本県(くまもとけん)独特の免田式土器(めんだしきどき)とよばれる壺(つぼ)は、何時代のものでしょうか?

正解:②弥生時代(やよいじだい)

県の特徴(とくちょう)を読めば、答えは簡単(かんたん)ですね。正解は、②弥生時代(やよいじだい)。熊本県球磨郡(くまもとけん くまぐん)の免田地方(めんだちほう)でみつかったのもその地名から名づけられました。弥生時代中期末～古墳時代前期のもので、1918年頃、免田町本目(めんだちょう もとめ)の源が屋敷(げんがやしき=「本目遺跡(もとめいせき)」)一帯の畑を水田にするために地下(じさ)げしたところ、数十～100個余りの土器(どき)が完全(かんぜん)な形で発見されたそうです。独特(とくとく)の形状(けいじょう)は、シンプルだけど美しく、沖縄(おきなわ)から壱岐(いき)まで、広い範囲(はんい)に運(はこ)ばれています。

2. 熊本県には、海の向こうから装飾古墳の文化が伝わり、栄えました。それはどこの地域から?

正解:③東アジア

熊本県(くまもとけん)は、海の向こうとの交流(こうりゅう)が早い時代から活発(かっぱつ)でした。縄文時代(じょうもんじだい)には朝鮮半島(ちょうせんはんと)から土器(どき)が、弥生時代(やよいじだい)には中国・朝鮮半島(ちょうせんはんと)から鉄(てつ)の文化が伝わり、古墳時代(こふんじだい)には墓(はか)の壁(かべ)を彩(いろど)る装飾古墳(そうしよくこふん)文化が伝わり栄(さか)えました。正解は③東アジアです。アメリカ大陸やアフリカは日本列島(れっとう)からとても遠(とお)い所なので、モノや文化が伝わるまでに、形状(けいじょう)やスタイルが少しずつ変化(へんか)してゆくため直接(ちよくせつ)伝わることはないでしょう。

3. 二子塚遺跡(ふたごづかいせき)からは、弥生時代のあるものが大量にみつかりました。それは何かな?

正解:①鉄器(てつき)

「お宝ベスト5」の3つ目に、写真付きで紹介(しょうかい)されています。正解は、①鉄器(てつき)。中国や朝鮮半島(ちょうせんはんと)との交流(こうりゅう)がさかんだったことが想像(そうぞう)できますね。熊本(くまもと)の鉄器(てつき)の一番の特徴(とくちょう)は、職人(しょくにん)さんが使う道具が多いこと。道具をつくるための鉄の道具をつくる鍛冶屋(かじや)さんの数は、当時の日本列島(れっとう)で一番多いんだって。

4. 黒髪町遺跡は、ある大学のキャンパスに広がる弥生時代の遺跡です。どこの学校ですか?

正解:③熊本大学(くまもとだいがく)

この質問(しつもん)の答えは、熊本県(くまもとけん)の大きなマップにある「黒髪町遺跡(くろかみまちいせき)」をクリックするとわかります。正解は、③熊本大学(くまもとだいがく)。ちなみに、日本大学(にほんだいがく)は今のところみつかりませんが、九州大学(きゅうしゅうだいがく)は、伊都(いと)キャンパスで石ヶ原古墳(いしがはらこふん)、箱崎(はこざき)キャンパスで箱崎遺跡(はこざきいせき)などがみつかりました。

5. 国宝に指定されている「大王の名前がきざまれた鉄刀(てつとう)」は、何という遺跡から出土しましたか?

正解:①江田船山古墳(えたふなやまこふん)

「お宝ベスト5」の4つ目を見てください。正解は、①江田船山古墳(えたふなやまこふん)です。大刀(たち)には、持(も)ち主(ぬし)の名前や、この大刀(たち)の由来(ゆらい)、刀をつくった職人(しょくにん)の名前が刻(きざ)まれています。そして、花・馬・魚・鳥の絵とともに、おめでたいメッセージが銀(ぎん)で彫(ほ)られているのだとか。もらった人は、さぞかし喜(よろこ)んだことでしょうね。